

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2014年8月号 —

7月のトピックス

○ 日本専門観光雑誌「行楽」を活用した招請及び情報発信（第1回目）

(7月4日～8日:長崎、熊本、福岡)

中国の日本専門観光雑誌「行楽」のスタッフを招請し、各地の取材を行いました。第1回目となる今回は、「600元以下で1泊2食・温泉付お手頃旅でも魅力いっぱいの九州温泉旅」と「まるで走るBAR ゴージャスな列車に乗ってめぐる九州西部の旅」をテーマに取材が行われました。各地の魅力的な観光情報を、テーマを設けて掲載することで、特に個人旅行者を中心とした誘客の促進を図っていきます。

○ 東九州3県フォーラム合同研修会にて講演（7月8日:福岡市）

東九州3県フォーラム合同研修会(鹿児島県、宮崎県、福岡県)が、西鉄イン福岡にて開催されました。

その中で、当機構の原田国内誘致推進部長が「東九州自動車道開通により広がる観光の今後の可能性」と題し講演を行いました。

東九州自動車道の開通は九州の悲願であり、九州広域の新たな観光コースとなる可能性が期待されます。今後、地域やフェリー会社等と協働して、観光における可能性を広げていきたいと考えます。



○ 在京ランドオペレーターを対象とした九州への海外誘致促進観光説明会・商談会を開催

(7月14日:東京)

昨年までは北部九州4県(佐賀県・長崎県・熊本県・大分県)が合同で開催してきた、在京ランドオペレーターの皆様と九州各県の観光・宿泊施設及び交通機関等の皆様との観光商談会を、本年から九州観光推進機構が主催者として開催しました。参加数はランドオペレーター28社・九州側53団体でしたが、皆様積極的に商談をされていました。来年以降もより多くのランドオペレーターの方に参加して頂き、海外からのお客様の拡大に繋がりたいと考えています。



○ 平成26年度九州観光推進機構第2回国内担当者会議を開催（7月15日:福岡市）

平成26年度九州観光推進機構第2回国内担当者会議を福岡市で開催しました。その中で、5月に全国で開催した「平成26年度下期観光素材説明会・相談会」の報告、9月から開催を予定している「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」に向けての意見の交換及び平成25年度の宿泊者数の報告等を行いました。

観光関係担当者との連携強化は、各々の事業推進において極めて重要なことから、今後とも都度協議を進めつつ、より効果的な事業運営に取り組んでいきます。

○ NECユーザーフォーラムにて講演（7月15日：福岡市）

NECユーザーフォーラムが福岡市にて開催され、当機構の石原会長が「観光を九州の基幹産業に」と題し講演を行いました。少子高齢化、人口減少、財政赤字、増大する社会保障費と大きな課題を持つ九州にとって観光は有望な成長戦略であり、裾野の広い産業です。

当日は様々な業界の方々のご出席になり、活発な質疑及び意見交換が行われ、九州における観光の重要性を認識して頂きました。

○ 「観光立国タウンミーティング in 北海道」に参加（7月17日：函館市）

日本観光振興協会主催の観光立国タウンミーティングが函館国際ホテルにて開催され、当機構の高橋事業本部長がパネラーとして登壇し、「九州新幹線開通時の九州の取り組み」について発表しました。



当日は観光業従事者をはじめ約200人が参加され、「九州の先行事例に学べ」と九州

新幹線開通時の九州における取り組みに高い関心をお持ちの方が多く、活発な質疑が行われました。整備が進む北陸とともに北海道でも、新幹線開通に向けて観光客の受け入れ体制等、今後の様々な取り組みが期待されます。

○ 佐賀県唐津市観光議員連盟研修会にて講演（7月17日：唐津市）

佐賀県唐津市観光議員連盟研修会が、唐津シーサイドホテルで開催され、当機構の豊島企画部次長が講演を行いました。「広域連携による観光振興」をテーマに、九州観光推進機構の取り組みと今後10年の九州の観光戦略等を九州オルレやSNS他、地域の取り組み事例も踏まえながら説明しました。



当日は、唐津市議31名、宿泊施設など観光関連従事者・商工会議所や農協漁協等生産者等関連団体・企業約120名、唐津市副市長の他職員60名、計約210名が出席され、「からつ観光戦略」推進に向けて活発な質疑及び意見交換が行われました。

○ 中国クルーズ船「海娜号」入港の歓迎セレモニーを開催（7月19日：福岡市）

本年2月末から、当機構と福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県が連携して、中国初の大型クルーズ船海娜号管理責任者及びツアー造成担当者4名を九州に招請するなど、誘致活動を行ってきましたが、4月に海娜号が博多港、長崎港に初入港しました。



7月19日からは中国天津港～博多港便が就航し、初便寄航時に当機構の高橋事業本部長と海航旅遊郵輪遊艇管理有限公司最高責任者が記念品交換を行いました。また、博多港にて歓迎のセレモニーとして和太鼓演出を行いました。乗客の皆様は大変喜んでおり、日本伝統文化やおもてなしの心を伝えることができました。

○ 「夏たびフェア in 岡山」への出展（7月19日～20日：岡山市）

J R西日本が主催する岡山駅前の観光PRイベント「夏たびフェア in 岡山」に参加しました。機構もPRブースを設置し、九州の他県のブースを巡り回答する「クイズラリー」を実施し、各県のパンフレットを設置・サンプリングするなどしてPRを行いました。暑い中のイベントのため、ブース内に「温泉足水」を設置し、家族連れの方を中心に涼んでいただきました。



イベント全体では2日間で24,000人の方が足を運ばれ、クイズラリーには450名の方に参加いただきました。大変暑い中でしたが、多くの方に九州の観光をPRすることができました。

○ 九州マラソン大会事務局連絡会を開催（7月22日：福岡市）

九州のマラソン大会の安全性、快適性向上を目的とした「九州マラソン大会事務局連絡会」を福岡市で開催しました。当日は九州各地のマラソン大会関係者約80名が参加されました。第一部の講演では「ランナーに喜ばれるマラソン大会に向けて」と題して、NPO法人ニッポンランナーズ代表の金哲彦氏に、第二部では「スポーツイベントにおける救急救命の現状と対応」と題して、福岡市消防局の田中敬一氏にご講演いただきました。

両講演とも実態に即した内容で、マラソン大会運営に大変参考になる話でした。参加者からも「他大会の事例が具体的に聞けてよかった」、「救護の必要性、対応方法は大変参考になった」等の感想を頂きました。この取り組み



が今後の各大会へ反映され、マラソン大会参加を通じた九州への誘客促進に繋がる事を期待しています。

○ 九州経済連合会熊本地域委員会にて講演（7月22日：熊本市）

九州経済連合会熊本地域委員会がANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて開催され、その中で当機構高橋事業本部長が講演を行いました。

内容は「九州の観光戦略と九州観光推進機構の取り組み」と題し、総合特区やボランティアガイド大会等これまでの機構の取り組みや第二期九州観光戦略に関して講演しました。

熊本県の多くの経営者の皆様が出席され、裾野の広い産業と言われる観光に関心度の高さを感じました。



○ 2014年度特区ガイド育成研修第II期の受付を開始（7月22日～8月28日）

九州7県及び福岡市と共同し実施している、2014年度特区ガイド（地域活性化総合特別区通訳案内）の第II期研修（長崎、熊本、大分県）の受講生受付を開始しました。

この特区ガイド育成研修は、九州7県及び福岡市で共同申請した「九州アジア観光アイランド総合特区」が総合特別区域法における地域活性化総合特別区域計画の認定を受けたことから、昨年度から取り組んでいるものです。国家試験を受けることなく、この研修を修了し、福岡県知事の登録を受けることにより、九州域内で「特区ガイド」として有償で外国語を用いた通訳案内を行うことができます。

○ 九州観光推進機構会員旅行会社窓口担当者会議を開催（7月23日：福岡市）

九州観光推進機構会員旅行会社窓口担当者会議を福岡市で開催しました。5月に全国で開催した「平成26年度下期観光素材説明会・相談会」の報告、9月から開催を予定している「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」に向けての意見の交換及び平成25年度の宿泊者数の報告等を行いました。

会員旅行会社窓口担当者との連携強化は、各々の事業推進において極めて重要なことから、今後ともタイムリーに開催し、より効果的な事業運営に取り組んでいきます。

○ 南九州観光振興会議にて講演（7月28日：宮崎市）

第22回南九州観光振興会議（宮崎県・熊本県・鹿児島県議会観光振興議員連盟主催）が宮崎観光ホテルにて開催され、当機構高橋事業本部長が「九州の観光戦略～南九州の役割と課題」と題し講演を行いました。

人口減少と少子高齢化の進む九州経済にとって、観光は有望な成長戦略です。九州観光戦略や南九州への期待と役割について、具体的に地場産食材にこだわったグルメ開発や九州オルレ等、地域の取り組みの事例や東九州自動車道開通に向けての仕掛けについて説明しました。

当日は熊本県・鹿児島県・宮崎県の県議会議員や観光関係者約200人が参加されました。また、会議では国内外からの南九州への観光客誘致対策の強化及び交通ネットワークの形成について協議がなされ、南九州一体となった観光客誘致策を強化していくことが確認されました。



○ 第4回オルレ現地視察研修会の実施（7月28日～29日：嬉野市、宗像市大島）

第4回オルレ現地視察研修会を嬉野市と宗像市大島で実施しました。7月8～9日に行う予定でしたが、台風の影響で延期しました。参加者が心配されましたが、当日は、旅行社、メディア関係20名の方に参加いただきました。真夏の快晴で暑さが厳しい中、茶畑と温泉の「嬉野コース」と古代からの贈り物と出会う島「宗像・大島コース」を現地研修しました。共にハードな健脚コースでしたが、熱中症に注意しながら全員元気に踏破し、歴史、自然の大きさに感動していました。



○ 中国広東省の有名カメラマン・マスコミ関係者を招請

（7月28日～8月1日：福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島）

中国広東省における有名なカメラマン2名及び有力なメディア「南方報業伝媒集団」のカメラマン2名及び記者2名、計6名を招請し、九州各地の観光素材を取材しました。中国で関心の高い大自然やグルメ、九州ならではの温泉や旅館を中心に撮影を行い、新聞、雑誌やウェブ、SNS等で情報発信を行います。

南方報業伝媒集団は、雑誌「南都周刊」、新聞「南方都市報」、大粵ネットなど中国で知名度の高い媒体を通して、九州の美しい自然風景やすばらしい温泉文化等を中国の方々に紹介する予定です。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○8月以降の主な事業

- ・ 韓国人ブロガー招請（6月～8月：九州内）
- ・ 航空プロモーション「空行け！九州キャンペーン」オープニングイベント（8月1日：東京）
- ・ 平成26年度「九州7県合同修学旅行説明会・相談会」
（8月1日、5日、20日～22日：広島、名古屋、東京、大阪、高松）
- ・ 九州地域戦略会議夏季セミナー（8月4日～5日：鹿児島）
- ・ 2014年度特区ガイド育成研修 第I期福岡日曜クラス研修（8月10日～10月26日：福岡県）
- ・ タイ国際旅行フェア（TITF#15）出展（8月14日～17日：バンコク）
- ・ 日韓観光交流拡大シンポジウム（8月28日～30日：ソウル）
- ・ NATAS HOLIDAYS出展（8月29日～31日：シンガポール）
- ・ 中国（広東）国際旅遊産業博覧会（CITIE）2014出展（8月29日～31日：広州）
- ・ 平成27年度上期九州観光素材説明会・相談会
（9月1日、9日、11日、17日、10月1日、8日、11月19日：仙台、東京、大阪、名古屋、
広島、福岡、金沢）
- ・ MATTA 2014出展（9月5日～7日、9日：クアラルンプール）
- ・ JNTOアウトバウンド商談会 in 釜山（9月11日：釜山）
- ・ ビジット・ジャパン・トラベル・マート出展（9月24日～26日：東京）
- ・ KLMオランダ航空連携招請（9月25日～29日：福岡、長崎、熊本、大分）
- ・ ツーリズムEXPOジャパン2014出展（9月25日～28日：東京）
- ・ 観光プロモーション at 羽田（観光庁主催）（10月3日～5日：東京）
- ・ ムスリム対応に向けたインドネシア・マレーシア旅行会社招請（10月中旬：九州内）

○ Facebookを活用した情報発信

九州観光推進機構では、HP や SNS 等 IT を活用した情報発信に努めています。

特に、約 11.5 億人と言われるユーザを抱える世界最大のソーシャルメディア「Facebook」では、ターゲットをセグメントした効果的な情報発信に努めています。こうした取組により、2010 年 10 月の開設以降、たくさんの方にアクセスしていただき、ファン数は 3.8 万人(2014 年 8 月 18 日現在)に達しています。

これからも Facebook を通じ、九州の魅力ある美しい自然や風景、九州の良さが伝わるようなイベント等を美しい写真と共にご紹介していきますので、会員の皆様におかれましても、ぜひご覧ください。

- ・ Facebook アカウント

九州観光旅行情報 (Kyushu Tourism Information)

- ・ URL

<http://www.facebook.com/visitkyushu>

- ・ 開設日

2010. 10. 26

※この他、「九州オルレ (Kyushu Olle 九州オルレ 卍卍올레)」、「英語版 (Kyushu Tourism Promotion Organization [English])」、「九州マラソン (マラソン in 九州)」でもそれぞれ開設し、情報発信を行っています。



百合ヶ浜 (鹿児島県) を紹介した投稿は、九州観光推進機構の Facebook としては過去最高となる 19 万以上の方にリーチしました

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 吉田

TEL:092-751-2943 FAX:092-751-2944

E-mail : infokyushu@welcomekyushu.jp